

公設公民館版「市長とドンドン語ろう！」令和4年（2022年）4月7日 熊本市中央公民館 7階ホール 意見交換内容 参加者：27名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	・コロナ禍での閉館措置により、活動ができていない。「まん防」の時期にも大きなイベントは開催されていたが、公民館は閉館されていた。すぐに閉館を決定するのではなく、高齢者の生き甲斐の場でもあるので、できる限り開館する方向で考えて欲しかった。	（市長） ・コロナ禍での閉館で皆様の活動に影響が出たことは申し訳なく思う。高齢者が多く、感染リスクも高いこともあり、閉館措置をとらせてもらった。できる限り制限はしたくないという思いはあるが、総合的なリスクを考えた措置である。ご理解をいただきたい。	文化市民局	生涯学習課
2	・誰もが利用しやすい公民館を目指すための施策であれば賛成である。昨年から自主講座を目の敵にしたような説明があっていたが、それが市長のところまで届いていたかが疑問である。 ・新しい人が入ることが難しいという話もあるが、自主講座は新しい人を優先的に入れる制度になっている。以前から所属している人は補欠になることもある。これは、自主講座自治会と公民館と一緒に考えた制度である。「自主講座」という名称にはこだわらないので、市長が目指す公民館づくりをしていただきたい。	（市長） ・「自主講座をやめさせる」などとの誤解があったようだ。自主講座はとても大事であるが、新しい人たちが入りやすく、すそ野を広げていこうという改革にはご理解いただきたい。 ・今後も地域別、館別、講座別で工夫しながら新しい人を集めてほしい。	文化市民局	生涯学習課
3	・利便性の向上を考えるならば、午前・午後・夜の各時間帯を2分割することで30%程度の稼働率向上が見込まれる。しかも、自主講座は、夜や土・日曜日の活動はほとんどない。働いている方々の利用の妨げはないと考える。	（市長） ・時間の枠については、講座の現状に合っているような制度を検討したい。実際に利用している方の意見を反映させたい。	文化市民局	生涯学習課
4	・昨年から自主講座がなくなると感じ取れるような話が出ており、危機感を募らせていた。市長の話聞いて、自主講座を存続してもらえると確信した。いろいろな学びや趣味を始めようとする団塊の世代の方々に自主講座の輪を広げていくことにより、まだまだ公民館の利用者は増加するものと思われる。 ・ICT活用等の話も出ているが、高齢者の中にはできない人もいます。ICT活用も大切であるが、従来のやり方での自主講座をいかにして末広がりにやっていくかも考えてほしい。	（市長） ・ICTが苦手な人が活用できるようになることは大切であり、その対応も行っていきたい。	文化市民局	生涯学習課

公設公民館版「市長とドンドン語ろう！」令和4年（2022年）4月7日 熊本市中央公民館 7階ホール 意見交換内容 参加者：27名

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館の自主講座生は確実に減少している。説明でもあったように、新しい人が入ってこないのは、公民館が何をしているのか分からないからである。もっとアピール、広報をしていくことが必要だ。</li> <li>・生涯学習は健康寿命を延ばすことに繋がる。健康寿命を延ばすために、公民館講座に入って活動してもらいたい。新しい講座を立ち上げることも必要であるが、利用者を増やすためには、民間のカルチャーセンターがそうであるように、「定期」の講座が開設されていることが不可欠である。</li> <li>会場確保のための自動抽選は足かせになる。学級長をする人もいなくなってきている。</li> </ul>	<p>（市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政だよりだけではなく、近い人に声かけをしていただいたり、LINEを活用するなどの手法も考えていかなければならない。</li> <li>・定期講座があるということが大事であることを再認識した。まず、今利用されている方々が不便にならないように考えなければならない。</li> </ul>	文化市民局	生涯学習課
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの説明が年代別や地域別、公民館別の数値を出すべきではないのか。稼働率が低い公民館の課題も見えてくると思う。</li> <li>・年間を通して会場を確保していただけたことは私たち講座生の「保険」になっている。4ヶ月毎に自分たちで会場を予約しなければならないことや重複した際の抽選に外れた場合に講師や講座生に周知をしなければならないことにより、学級長のなり手がなくなる。利用者、世話役の気持ちを汲んでほしい。</li> </ul>	<p>（市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全館一律にするのではなく、柔軟な形があってもいいのではないかと。市民のニーズや地域の実情に合わせた制度づくりは大切である。</li> </ul>	文化市民局	生涯学習課
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命や健康余命が伸びている。本市の65歳以上の人口の割合は30%弱であり、年々高まっていくことが予測される。現在の講座制度を自主サークル活動に変更することにより、講座数が減少することが考えられる。市長のマニフェストに逆行するのではないかと。</li> <li>高齢者の生き甲斐づくりを汲み取り、現行制度の継続、フレキシブルな対応をお願いしたい。</li> </ul>	<p>（市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の生き甲斐づくりは非常に重要なことである。「元気な高齢者」も増えており、その方たちがどうやって生き甲斐をもって活動できるかが大切である。コロナ禍で家から出ない人も増え、健康にもよくない状況である。コロナが落ち着いた後、公民館活動に参加していただけるようなPRをしていきたい。</li> </ul>	文化市民局	生涯学習課
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主講座は実質2時間の活動であるので、利便性の向上の意味からも利用時間枠は、時間単位でもいいのではないかと。</li> <li>・将来的には一般サークルや同好会も「生涯学習サークル」と見なすということを知ったが、「生涯学習サークル」（旧 自主講座）と「一般サークル」を分けて考えたほうがすっきりする。</li> <li>・生涯学習課がいう「公平性」と「年間の部屋の確保」は矛盾するところがある。「生涯学習サークル」「一般サークル」とも年間予約ができることにし、一つのサークルに「毎月2回まで」「時間帯の固定」等の条件をつけることで、公平性も保たれると思う。年間予約だけは絶対に譲れない条件である。</li> </ul>	<p>（市長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の枠については、講座の現状に合っているような制度を検討したい。実際に利用している方の意見を反映させたい。</li> <li>・年間予約等のやり方についてはご意見をいただきたい。</li> </ul>	文化市民局	生涯学習課

公設公民館版「市長とドンドン語ろう！」令和4年（2022年）4月7日 熊本市中央公民館 7階ホール 意見交換内容 参加者：27名

No.	ご意見	回答	局	担当課
9	<p>・自主講座の欠点は、講師と生徒が変わらないことである。長年、同じメンバーで長く活動することにより、新たな人が入り辛いことがある。「生涯学習サークル」への移行は賛成である。</p> <p>以前、生涯学習課と話をし、講師の年齢の上限を80歳とした。講師もたくさんいる。いろいろなサークルができて、新しい人が入るようにしていかないと利用人数は増えないと思われる。</p>	<p>(市長)</p> <p>・講師の手配にも長期予約は不可欠である。講師が固定しないことも大切であるが、この講師でなければいけないという思いもあるのではないかと。一概には言えないが、いずれにせよ排他的であってはならない。</p>	文化市民局	生涯学習課
10	<p>・公民館の役割と自主講座という視点から考えてきた。公民館の役割は、講座の開設等を自ら行うということと民間や行政と協働して学習機会を提供することである。自主講座は公民館事業の最たるものであると考える。</p> <p>昨夏、見直しの話があり、猛反発した。しかし、本日、柔軟的に考えていただけるといってお話を伺い、ありがたく思った。自主講座を一般の生涯学習サークルと一本化することはおかしいと思う。長期的・安定的な自主講座を廃止することになり、生き甲斐を失うことになる。</p> <p>自主講座を一般サークルにすることで、公民館のすそ野が広がることはあり得ない。すそ野を広げるためには、公民館の事業をPRすることが何よりも大切ではないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>・今まで利用されていた方を排除するという考え方は一切ない。</p> <p>・新しい利用者の方を迎え入れることに関しては、まだご意見をお持ちであると思うので、書き留めていただき、各担当に伝えてほしい。前向きな形で公民館をより広く、多くの方に利用していただき、以前から利用されている方も新しく利用されている方も仲良く活動していただきたい。</p>	文化市民局	生涯学習課
11	<p>・利便性向上のためには、貸館制度の見直しが必要。利用時間を1時間単位にして、現在空いている時間を有効活用することにより、一般利用者と自主講座の重複はほぼ防ぐことができるのではないかと。予約制度の改善も必要。一般のサークルでも年間予約ができるようにすれば、問題が解決するのではないかと。</p> <p>・自主講座には初心者対象、優先的会場確保、自治会組織等の制度がある。会場抽選等、一般サークルと同等にすることについては、問題がある。自主講座の立ち位置をはっきりさせたい。</p> <p>人生100年時代に入り、元気な高齢者を支えるという視点からの施策も打ち出してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>・時間の枠については、講座の現状に合っているような制度を検討したい。実際に利用している方の声を反映させたい。</p> <p>・年間予約等のやり方についてはご意見をいただきたい。</p>	文化市民局	生涯学習課

公設公民館版「市長とドンドン語ろう！」令和4年（2022年）4月7日 熊本市中央公民館 7階ホール 意見交換内容 参加者：27名

No.	ご意見	回答	局	担当課
12	<p>・隣の市民センター（総合出張所）は多くの人利用している。その人たちにチラシを配布するだけでもPRにつながる。清水公民館にはPRする場、展示する場、ミーティングする場がなく、使い勝手が悪い。</p>	<p>（市長）                      ・まちづくりセンター等にチラシを置くなど、身近なところからPRをしていきたい。</p> <p>-----</p> <p>（生涯学習課 追記）                      令和4年4月8日 清水公民館、清水総合出張所で対応済み。PRについては、総合出張所を利用される方に公民館講座の周知を図るため、総合出張所側出入口付近に掲示板を設置しました。ミーティングスペースについては、2階空きスペースに長机とパイプ椅子を設置しました。</p>	文化市民局	生涯学習課
13	<p>・公民館での学習の成果を発表（展示）する場を設けることで、地域住民に活動を知ってもらうことが必要。それが公民館と地域を結びつけることに繋がる。公民館内に発表（展示）スペースがほしい。</p> <p>・一般サークルも年間使用できるようにお願いしたい。定例会を行っているため、年間を通して活動日が決まっているとありがたい。</p>	<p>（市長）                      ・発表の場があると活動を知っていただく機会にもなり、「自分も参加してみよう」と公民館に出かけるきっかけになる。</p> <p>・年間予約等のやり方についてはご意見をいただきたい。</p>	文化市民局	生涯学習課